

## 2016年度 実践セミナー[OT 県士会向け]

7月30日(土) 31日(日)

### D 「不器用さ」への理解と指導 - 意欲を育むために

粗大運動、微細運動、視機能といった領域別に、実践的なアプローチ法を紹介します。

「不器用さ」は背景に脳機能の働きの未熟さや偏りがあり、運動や学習、生活等あらゆる場面で当事者たる子どもを困らせています。困難さの背景を理解し、様々な領域へアプローチすることが求められます。また不器用な子どもは、失敗経験の積み重ねによって自信や意欲を失ってしまうことが少なくありません。このセミナーでは、不器用さについてのメカニズムや手指機能、視機能への支援を多角的に学ぶだけでなく、クラスや集団の中で子どもが意欲、主体性を高める取り組みについてもお伝えします。

#### ①「不器用さ」のメカニズムと支援

花井忠征先生(中部大学)

#### ②粗大運動へのアプローチ

花井忠征先生(中部大学)

#### ③不器用さと感覚の問題

岩永竜一郎先生(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

#### ④器用さを育てる工夫 - 物の操作における手指機能について

三澤一登先生(愛媛十全医療学院)

#### ⑤視機能の問題と保育・教育の場でできる支援

本多和子先生(NPO法人翔和学園・小児神経学クリニック)

#### ⑥意欲を育てる一クラスの中での取り組み

藤原義博先生(創価大学)

8月7日(日) 8日(月)

### L リハ職(ST・OT)等のための発達障害セミナー—家族への支援も含めて

自己の専門性を高めつつ、近接領域についても視野を広げます。

子どもの臨床においては、自分の専門からの視点だけでなく、全体発達の中で子どもを捉えることが大切です。そのためには、自分の専門領域を深めつつ、近接領域にも関心を寄せたり、他職種と連携をとったりしながら支援を進める必要があります。医学講座をはじめ、感覚統合やコミュニケーション支援、心理検査の解釈法など、STやOTといったリハ職の方々の発達障害臨床に役立つ、実践的な内容が満載です。専門を深めつつ、専門の垣根を越えて学ぶ2日間です。

①発達障害の医学—多職種連携も含めて

原仁先生（社会福祉法人青い鳥 小児療育相談センター）

②感覚統合理論をふまえた子どもの理解と関わり方

松本政悦先生（よこはま港南地域療育センター）

③手指のコントロール力を育てる指導

松本政悦先生（よこはま港南地域療育センター）

④自閉症スペクトラム障害の子へのコミュニケーション支援—知的障害のない子を中心に

大岡治恵先生（日本福祉大学中央福祉専門学校）

⑤心理検査を解釈するポイント - WISC-IVを中心に

松田修先生（東京学芸大学）

⑥発達障害のある子を育てる家族への支援—専門職としての心構えも含めて

中川信子先生（子どもの発達支援を考えるS Tの会）

★その他にも様々なテーマで講座を行っております。詳しくはHPをご覧ください。

★お申込み方法

《申し込み》お電話・FAX・発達協会ホームページから、お申し込みいただけます。

・電話：03-3903-3800

・Fax：03-3903-3836

・HP：<http://www.hattatsu.or.jp/>

《ご注意》・同じ日程で開催されるセミナー（例：A，B）

を申し込むことはできません。

・申し込みの殺到が予想されるセミナーもございます。

お早めにお申し込み下さい。

《時間》各日 10:15～16:20（1つのセミナーにつき2日間の日程で行います）

《定員》約150～300名（定員になり次第、随時締め切ります）

《会場》東京ファッションタウン（TFT）ビル東館 9階研修室

東京都江東区有明3-6-11

《受講料》各14,040円（税込）（会員12,960円（税込））